



## 外国出張報告書

平成 26 年 4 月 12 日

1. 出張国名       マレーシア
2. 出張月       平成 26 年 2～3 月
3. 出張目的       マレーシア・フタバガキ択伐林業の持続性評価及び向上技術の開発：C

#### 4. 成果の概要

セマンコック試験地の伐採履歴の異なる林分で再調査を行い、成長量、死亡量、加入量を解析したところ、伐採経過時間と林分成長量すなわち炭素蓄積量は、伐採後の年数が経過するほど増加する傾向が認められた。ブッキンタ試験地の 2 樹種の植栽区において、保残木の毎木調査と傾斜度の測定を行ったところ、植栽木の生残数の少ない植栽区では非植栽木が多く、傾斜が急峻である傾向が認められた。3 月 10 日にペラ州森林局において成果受け渡しセミナーを実施して、局側から重要な植栽成績データであると評価を受けた。